

【 一般撮影 部門 】

● 一般撮影検査とは？

一般撮影検査とは、X線を利用して目的とする体内の臓器や骨などのレントゲンを撮影する検査です。この検査は、数ある放射線の検査で最も多く行われています。CTやMRIなどの検査より簡便で検査時間が短いため、患者さんへの負担が少なく、緊急時に全体像を素早く把握する必要がある場合にも非常に有効な検査です。

● 装置 （使用機器）

当院では、一般撮影室は3部屋あります。一般撮影の中で最も撮影数の多い胸部立位専用の部屋が1部屋（2番撮影室）、どの部位にも対応可能な撮影室が2部屋（3番・5番撮影室）あります。

日により待ち時間に差がありますが、可能な限り患者さんの待ち時間が短縮されるように配慮しています。撮影室付近に掲示モニタがありますので、順番の目安にご覧下さい。

2019年2月に管球システムの更新を行い、それに伴って設備も新しく整えました。

新しい管球システムとFPD（Flat Panel Detector：平面検出器）により、さらに少ないX線量で検査を行うことが可能になりました。高精細で感度も高いため、今まで写り込むことのなかった、カップ付きの下着やゴムの締め付け、束ねた髪の毛も写るようになりましたので、患者さんの更衣・脱衣のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【2番撮影室（胸部立位専用）】

胸部撮影装置

FPD式デジタル画像システム（立位）
[CXDI 401G (Canon)]

X線発生装置

[UD150 B-40 (島津製作所)]

立位台

[ROCKET EVOLUTION2 (大林製作所)]



オートボイスシステム

[MEDICAL VOICE MV2009-5 (オリオン・ラドセーフメディカル)]

新しくオートボイスシステムが導入されました。これによって、日本語を含めた5ヶ国語（日本語・英語・中国語・ポルトガル語・韓国語）に対応が可能になりました。

また、自動音声に伴って、患者さんの見える位置に文字も表示され



るようになったため、より呼吸合図がしやすくなり検査に最適な吸気での撮影が可能となりました。

【3番・5番撮影室】

骨部撮影装置

FPD 式デジタル画像システム（立位）
[CXDI 401G（Canon）]

FPD 式デジタル画像システム（臥位）
[CXDI 401G（Canon）]

無線 FPD 式デジタル画像システム
[CXDI 701G-wireless（Canon）]
[CXDI 801G-wireless（Canon）]



X線発生装置
[UD150 B-40（島津製作所）]

立位台・寝台
[ROCKET EVOLUTION 2 / E・JIS（大林製作所）]

オートポジショニング機構が導入されました。

従来までは、手動で行っていた管球設定を自動で行うことで、画像の標準化が図れるだけでなく、患者さんと離れる時間が少なくなり、検査の安全性と効率性を高められると考えています。

また、寝台に障害陰影とならないマットを敷きました。患者さんの身体的負担が減り、従来よりも痛みが少なく検査を受けていただけるようになりました。

【その他】

ポータブル式 X線発生装置（6台）
[MobileDaRt Evolution（島津製作所）]
[Sirius Starmobile Tiara Airy（日立製作所）] など

無線 FPD 式デジタル画像システム
[CXDI 70G-wireless（Canon）]

移動式外科用イメージ（5台）
[OEC9900 Elite（GE）]
[OPESCOPE ACTENO（島津製作所）]
[Zenition（Philips）] など

● 検査時の注意点とお願い

- ✓ 湿布、カイロ、ボタンや金属類が撮影範囲内に無いかを確認します。カップ付きの下着やゴムの締め付けなども写ります。必要な場合は、脱衣または検査着等に替えて頂きます。無地のTシャツなどはスムーズに検査を行うことができます。
- ✓ 持続血糖測定器などを装着されている場合は、故障の原因になりますので外して頂く場合があります。
- ✓ 検査内容や撮影部位によって、立った状態や座った状態、撮影専用台に寝て撮影を行います。何回か体位を変えながら撮影を行うことがあります。当日、不都合がある場合にはお知らせ下さい。
- ✓ 撮影する際に、写真がブレないように息止めの合図を行うことがあります。
- ✓ 撮影後、画像に障害陰影（ボタンなど）やブレなどが無いことを確認して検査終了です。

これらは、正確な診断を行える写真を撮るために必要なことですので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

● 被ばく線量 当院の一般撮影検査における被ばく線量は以下のようです。

各撮影部位	当院 (mGy)	※DRLs2020 (mGy)
胸部立位 (正面)	0.13	0.3
腹部臥位 (正面)	1.73	2.5
腰椎 (正面)	1.67	3.5

※DRLs2020：医療被曝の線量指標を示した診断参考レベル

当院の被ばく線量（平均）は指標値以下で、診断可能な画質が担保されるよう管理しています。